

妹を守ってくれてありがとう

末吉中学校1年 安庭 楓華

私の妹は、知的障害とレノックスガストー症候群という難病を患っています。一日に何回もてんかん発作を起こして転倒するので、頭を保護するヘッドギアをかぶっています。このヘッドギアは特殊な帽子なので、値段がとても高いです。そこで、母が市役所に相談すると一割の金額で買うことができました。残りの九割を誰が支払ってくれているのだろうと疑問に思い、父にたずねると、税金がもとになっていると教えてくれました。また、妹は、自閉症スペクトラムという障害も、もっています。初めての場所に行ったり、人に会ったりすると不安になり、外や店でパニックを起こすことがあります。周りの人は最初、驚いていますが、ヘルプカードやヘッドギアを見ると、障害のある子だと理解し、優しく手助けしてくれます。ヘルプカードも税金でできているそうです。

他にも、税金は医療にどのように関わっているだろうと興味が出て調べてみました。

税金は、私たちの医療費にも使われているそうです。私が、病院に行ったとき、毎回受付で保険証と一緒に出すピンク色の紙は何か以前から不思議に思っていました。よく見てみるとその紙には、「曾於市子ども医療費助成金受給資格者証」と書いてありました。私の住んでいる曾於市では、十八歳までは支払った医療費が払い戻しされます。このお金も税金です。おかげで病気やけがを早く発見し、治療をすることができるので、とてもありがたい制度だと思いました。

また、妹の医療費についても調べてみました。妹のような重度の障害者には、重度心身障害者医療費助成制度があり、十九歳以降も医療費が助成されるそうです。妹は、てんかん発作をおさえるため、毎日多くの薬を服用しています。だから、多額の医療費がかかっています。しかし、この制度のおかげで医療費の負担が大幅に減り、とても助かっているそうです。

次に、障害者の福祉施設についても調べてみました。妹は、保育園のころから療育施設を利用しています。現在は、養護学校に通いながら放課後は、子ども発達支援センターに通所しています。この福祉施設も税金が使われています。この施設を利用することで、妹は放課後も安心して安全な場所で過ごすことができます。これからも、成長と共に色んな福祉施設にお世話になることと思います。

もし、税金がなかったら、妹は、今のように元気に楽しく過ごすことは難しいだろうと思います。税金の大切さやありがたさをとても強く感じました。私は、明るくて素直でみんなを笑顔にしてくれる妹が大好きです。これからも、ずっと守っていきたいと思います。

誰もが、安全で幸せに過ごせる世の中であるために、これからも税金が、みんなのために大切に使われることを心から願います。